

外科的合併症

歯周形成外科手術の合併症とその予防

(デジタルを用いた新しい軟組織診断)

中田 光太郎

京都府開業



外科的合併症という今学術大会のテーマは、私を含めて臨床医にとって非常に興味あるタイトルである。インプラント治療において、正常な手術創の閉鎖・治癒は、理想的な治療結果を得るためには、不可避である。わたしの立場からは、軟組織のハンドリングに視点を置いて、一次創傷閉鎖を獲得し一次創傷治癒を得るために必要なファクターを基本的なレベルから検証し、いかに合併症を回避するか考察する。また近年、歯科においてハードウェアの革新は目覚ましいものがあり、デンタルCT、マイクロスコープ、そしてCAD/CAMと、技術の大きな革新は、私たちの臨床に多大な恩恵を与えてくれる。歯科臨床へのデジタルの応用から、さまざまな新しい技術が導入されているが、軟組織診断の観点でデジタル化の寄与する部分にも触れて見たいと思う。

略 歴

1990年 福岡県立九州歯科大学 卒業
1994年 医療法人社団洛歯会 中田歯科クリニック 開設
2009年 同 デンタルクリニックタカナ 開設

現在の役職及び所属学会 等

- ・日本顕微鏡歯科学会 指導医
- ・日本臨床歯周病学会 認定医
- ・AO (Academy Of Osseointegration) Active Member
- ・EAO Member (European Association for Osseointegration)
- ・ITI (International Team for Implantology) Fellow
- ・OJ (Osseointegration study club of Japan) 常任理事
- ・ENの会 主宰
- ・NGSC (New Generation Study Club) 副会長
- ・SAFE 理事
- ・クンテッセンス出版 PRD Year Book, Micro Year Book 編集委員

memo